

令和３年産果樹共済の実績（概要）について

【収穫共済】

１ うんしゅうみかん

（１） 引受実績

引受戸数は 5,339 戸（対前年 92.4%）、引受面積は 4,626ha（対前年 85.1%）であり、引受面積の上位３県は和歌山県（2,064ha）、長崎県（1,128ha）、愛媛県（643ha）であった。また、共済金額は 9,874 百万円（対前年 83.8%）であり、面積引受率（結果樹面積に対する引受面積の割合。以下同じ。）は 13.1%であった。

（２） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 1,335 戸、支払対象面積は 676ha、共済金支払額は 395 百万円であった。

主な被害は雨害湿潤害、風水害などであった。

金額被害率は 4.0%であり、平均共済掛金率（共済金額に対する共済掛金の割合。以下同じ。）5.2%を下回った。また、金額被害率が高かった県は、和歌山県（5.7%）、香川県（5.1%）、静岡県（4.2%）であった。

２ なつみかん

（１） 引受実績

引受戸数は 124 戸（対前年 88.6%）、引受面積は 35ha（対前年 88.5%）であり、愛媛県及び熊本県で引受面積の 87.1%を占めていた。また、共済金額は 43 百万円（対前年 91.9%）であり、面積引受率は 4.3%であった。

（２） 共済金支払実績等

共済金支払実績があったのは、愛媛県、熊本県及び静岡県の３県で支払対象戸数は 13 戸、支払対象面積は 6 ha、共済金支払額は 1 百万円であった。

主な被害は干害、病害などであった。

金額被害率は 3.2%であり、平均共済掛金率 7.1%を下回った。また、金額被害率は、静岡県（15.2%）、熊本県（4.0%）、愛媛県（2.5%）であった。

３ いよかん

（１） 引受実績

引受実績があったのは香川県及び愛媛県の２県で、引受戸数は 865 戸（対前年 82.8%）、引受面積は 430ha（対前年 79.9%）であり、各県の引受面積は香川県（1 ha）、愛媛県（429ha）であった。また、共済金額は 617 百万円（対前年 84.7%）であり、面積引受率は 24.9%であった。

（２） 共済金支払実績等

共済金支払実績があったのは愛媛県のみであり、支払対象戸数は 219 戸、支払対象面積は 105ha、共済金支払額は 41 百万円であった。

主な被害は干害、風水害などであった。

金額被害率は 6.6%（愛媛県 6.6%）であり、平均共済掛金率 7.2%（愛媛県 7.2%）を下回った。

4 指定かんきつ

（１） 引受実績

引受戸数は 2,134 戸（対前年 89.9%）、引受面積は 649ha（対前年 89.1%）であり、引受面積の上位 3 県は愛媛県（325ha）、和歌山県（140ha）、広島県（66ha）であった。また、共済金額は 1,752 百万円（対前年 95.4%）であり、面積引受率は 6.3%であった。

（２） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 445 戸、支払対象面積は 125ha、共済金支払額は 80 百万円であった。

主な被害は干害、風水害などであった。

金額被害率は 4.6%であり、平均共済掛金率 6.7%を下回った。また、金額被害率が高かった県は、宮崎県（7.5%）、熊本県（7.4%）、香川県（6.1%）であった。

（注）指定かんきつは、以下のとおり。

はっさく、ぽんかん、ネーブルオレンジ、ぶんたん、たんかん、
さんぼうかん、清見、日向夏、セミノール、不知火、河内晩柑、
ゆず、はるみ、レモン、せとか、愛媛県試第 28 号及び甘平

5 りんご

（１） 引受実績

引受戸数は 9,817 戸（対前年 86.9%）、引受面積は 7,294ha（対前年 84.9%）であり、引受面積の上位 3 県は青森県（5,052ha）、長野県（1,169ha）、岩手県（265ha）であった。また、共済金額は 20,071 百万円（対前年 84.2%）であり、面積引受率は 20.9%であった。

（２） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 1,980 戸、支払対象面積は 1,022ha、共済金支払額は 794 百万円であった。

主な被害は凍霜害、風水害などであった。

金額被害率は 4.0%であり、平均共済掛金率 2.9%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、広島県（34.0%）、岐阜県（28.2%）、宮城県（21.4%）であった。

6 ぶどう

(1) 引受実績

引受戸数は3,717戸（対前年90.3%）、引受面積は1,153ha（対前年87.8%）であり、引受面積の上位3県は山梨県（575ha）、長野県（211ha）、岡山県（61ha）であった。また、共済金額は5,907百万円（対前年93.6%）であり、面積引受率は8.0%であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は830戸、支払対象面積は255ha、共済金支払額は312百万円であった。

主な被害は雨害湿潤害、病害などであった。

金額被害率は5.3%であり、平均共済掛金率2.5%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、石川県（26.5%）、福岡県（21.2%）、宮崎県（17.5%）であった。

7 なし

(1) 引受実績

引受戸数は4,062戸（対前年85.5%）、引受面積は1,631ha（対前年82.6%）であり、引受面積の上位3県は山形県（284ha）、茨城県（182ha）、新潟県（148ha）であった。また、共済金額は6,895百万円（対前年81.0%）であり、面積引受率は15.7%であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は1,211戸、支払対象面積は442ha、共済金支払額は603百万円であった。

主な被害は凍霜害、風水害などであった。

金額被害率は8.7%であり、平均共済掛金率4.0%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、宮城県（58.7%）、広島県（43.8%）、福島県（32.8%）であった。

8 もも

(1) 引受実績

引受戸数は2,387戸（対前年88.6%）、引受面積は719ha（対前年86.1%）であり、引受面積の上位3県は山梨県（309ha）、福島県（179ha）、和歌山県（87ha）であった。また、共済金額は2,321百万円（対前年89.0%）であり、面積引受率は8.8%であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は722戸、支払対象面積は208ha、共済金支払額は175百万円であった。

主な被害は凍霜害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は7.5%であり、平均共済掛金率4.2%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、福島県（19.7%）、長野県（16.7%）、新潟県（8.4%）であった。

9 おうとう

（1） 引受実績

引受実績があったのは秋田県及び山形県の2県で、引受戸数は828戸（対前年88.7%）、引受面積は149ha（対前年86.1%）であった。また、共済金額は663百万円（対前年82.2%）であり、面積引受率は5.2%であった。

山形県の引受が大宗を占めており、引受戸数は793戸、引受面積は143ha、共済金額は634百万円であり、面積引受率は5.1%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は540戸、支払対象面積は96ha、共済金支払額は211百万円であった。

主な被害は凍霜害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は31.9%であり、平均共済掛金率6.4%を上回った。また、各県の金額被害率は、秋田県（15.3%）、山形県（32.7%）であった。

10 びわ

（1） 引受実績

引受実績があったのは和歌山県、愛媛県及び長崎県の3県で、引受戸数は295戸（対前年88.6%）、引受面積は78ha（対前年87.1%）であり、各県の引受面積は長崎県（55ha）、和歌山県（22ha）、愛媛県（1ha）であった。また、共済金額は144百万円（対前年91.4%）であり、面積引受率は20.0%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は71戸、支払対象面積は18ha、共済金支払額は7百万円であった。

主な被害は凍霜害、虫害などであった。

金額被害率は4.9%であり、平均共済掛金率9.0%を下回った。また、各県の金額被害率は、和歌山県（8.5%）、愛媛県（2.7%）、長崎県（3.2%）であった。

11 かき

（1） 引受実績

引受戸数は2,198戸（対前年89.3%）、引受面積は848ha（対前年87.0%）であり、引受面積の上位3県は、和歌山県（250ha）、山形県（154ha）、新潟県（82ha）であった。また、共済金額は1,197百万円（対前年89.1%）であり、面積引受率は6.5%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 661 戸、支払対象面積は 271ha、共済金支払額は 94 百万円であった。

主な被害は凍霜害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は 7.8% であり、平均共済掛金率 5.9% を上回った。また、金額被害率が高かった県は、福島県 (37.7%)、新潟県 (12.8%)、鳥取県 (12.8%)、香川県 (12.6%)、山形県 (12.1%)、島根県 (10.3%) であった。

12 くり

(1) 引受実績

引受戸数は 817 戸 (対前年 90.7%)、引受面積は 573ha (対前年 89.2%) であり、引受面積の上位 3 県は熊本県 (224ha)、愛媛県 (167ha)、宮崎県 (106ha) であった。また、共済金額は 232 百万円 (対前年 94.1%) であり、面積引受率は 9.9% であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は 154 戸、支払対象面積は 149ha、共済金支払額は 22 百万円であった。

主な被害は凍霜害、病害などであった。

金額被害率は 9.3% であり、平均共済掛金率 9.6% を下回った。また、金額被害率が高かった県は、島根県 (34.2%)、香川県 (26.8%)、宮崎県 (17.3%) であった。

13 うめ

(1) 引受実績

引受戸数は 2,461 戸 (対前年 95.6%)、引受面積は 1,887ha (対前年 93.2%) であった。また、共済金額は 5,125 百万円 (対前年 92.3%) であり、面積引受率は 32.8% であった。

和歌山県の引受が大宗を占めており、引受戸数は 2,344 戸、引受面積は 1,829ha、共済金額は 5,084 百万円であり、面積引受率は 37.4% であった。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払実績があったのは、和歌山県及び福井県の 2 県で支払対象戸数は 285 戸 (うち和歌山県 262 戸)、支払対象面積は 174ha (うち和歌山県 163ha)、共済金支払額は 128 百万円 (うち和歌山県 126 百万円) であった。

主な被害はひょう害、風水害などであった。

金額被害率は 2.5% (和歌山県 2.5%) であり、平均共済掛金率 8.9% (和歌山県 8.9%) を下回った。

14 すもも

(1) 引受実績

引受戸数は 563 戸（対前年 88.2%）、引受面積は 110ha（対前年 86.5%）であり、引受面積の上位 3 県は山梨県（70ha）、和歌山県（21ha）、長野県（15ha）であった。また、共済金額は 285 百万円（対前年 92.9%）であり、面積引受率は 7.4%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 111 戸、支払対象面積は 24ha、共済金支払額は 22 百万円であった。

主な被害は凍霜害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は 7.7%であり、平均共済掛金率 9.0%を下回った。また、金額被害率が高かった県は、長野県（20.2%）、鹿児島県（10.7%）であった。

15 キウイフルーツ

（1） 引受実績

引受戸数は 622 戸（対前年 86.0%）、引受面積は 159ha（対前年 86.8%）であり、引受面積の上位 3 県は福岡県（81ha）、愛媛県（46ha）、和歌山県（23ha）であった。また、共済金額は 754 百万円（対前年 86.3%）であり、面積引受率は 15.9%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 281 戸、支払対象面積は 71ha、共済金支払額は 113 百万円であった。

主な被害は病害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は 15.0%であり、平均共済掛金率 4.3%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、大分県（36.8%）、愛媛県（24.3%）、和歌山県（18.8%）であった。

【樹体共済】

1 うんしゅうみかん

（1） 引受実績

引受戸数は 152 戸（対前年 89.4%）、引受面積は 72ha（対前年 97.7%）であり、引受面積の上位 3 県は徳島県（42ha）、静岡県（26ha）、千葉県（3ha）であった。また、共済金額は 464 百万円（対前年 106.7%）であり、面積引受率は 0.9%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 22 戸、支払対象面積は 18ha、共済金支払額は 6 百万円であった。

主な被害は寒害、獣害などであった。

金額被害率は 1.2%であり、平均共済掛金率 0.2%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、徳島県（1.7%）、千葉県（1.1%）であった。

2 指定かんきつ

(1) 引受実績

引受実績があったのは広島県のみで、引受戸数は2戸（対前年 100.0%）、引受面積は 0.5ha（対前年 100.0%）であった。また、共済金額は 13 百万円（対前年 91.8%）であり、面積引受率は 0.0%であった。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払実績はなかった。

3 りんご

(1) 引受実績

引受実績があったのは、山形県と富山県の2県で、引受戸数は 189 戸（対前年 92.2%）、引受面積は 85ha（対前年 96.0%）であった。また、共済金額は 731 百万円（対前年 88.2%）であり、面積引受率は 3.9%であった。

山形県の引受が大宗を占めており、引受戸数は 132 戸、引受面積は 65ha、共済金額は 445 百万円であり、面積引受率は 3.1%であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は 108 戸（うち山形県 81 戸）、支払対象面積は 60ha（うち山形県 48ha）、共済金支払額は 35 百万円（うち山形県 30 百万円）であった。

主な被害は雪害、病害などであった。

金額被害率は 4.7%（山形県 6.7%）であり、平均共済掛金率 1.4%（山形県 2.0%）を上回った。

4 ぶどう

(1) 引受実績

引受戸数は 114 戸（対前年 95.8%）、引受面積は 37ha（対前年 94.5%）であり、引受面積の上位3県は山形県（15ha）、島根県（13ha）、山梨県（6ha）であった。また、共済金額は 449 百万円（対前年 97.4%）であり、面積引受率は 0.6%であった。

(2) 共済金支払実績等

支払対象戸数は 24 戸、支払対象面積は 14ha、共済金支払額は 7 百万円であった。

主な被害は病害、雪害などであった。

金額被害率は 1.5%であり、平均共済掛金率 0.9%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、新潟県（6.9%）、島根県（1.9%）であった。

5 なし

(1) 引受実績

引受戸数は 352 戸（対前年 90.0%）、引受面積は 134ha（対前年 89.7%）であり、引受面積の上位 3 県は千葉県（64ha）、山形県（44ha）、富山県（17ha）であった。また、共済金額は 2,350 百万円（対前年 89.7%）であり、面積引受率は 4.7%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 108 戸、支払対象面積は 54ha、共済金支払額は 28 百万円であった。

主な被害は病害、雪害などであった。

金額被害率は 1.2%であり、平均共済掛金率 0.8%を上回った。また、金額被害率が高かった県は、山形県（2.4%）、千葉県（1.0%）であった。

6 もも

（1） 引受実績

引受実績があったのは山形県のみで、引受戸数は 82 戸（対前年 94.3%）、引受面積は 23ha（対前年 93.5%）であった。また、共済金額は 175 百万円（対前年 107.1%）であり、面積引受率は 3.7%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 48 戸、支払対象面積は 16ha、共済金支払額は 12 百万円であった。

主な被害は雪害、病害などであった。

金額被害率は 7.0%であり、平均共済掛金率 4.0%を上回った。

7 おうとう

（1） 引受実績

引受実績があったのは山形県のみで、引受戸数は 386 戸（対前年 90.8%）、引受面積は 87ha（対前年 92.4%）であった。また、共済金額は 1,421 百万円（対前年 84.6%）であり、面積引受率は 3.1%であった。

（2） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 121 戸、支払対象面積は 36ha、共済金支払額は 26 百万円であった。

主な被害は病害、雪害などであった。

金額被害率は 1.8%であり、平均共済掛金率 1.5%を上回った。

8 かき

（1） 引受実績

引受実績があったのは山形県、新潟県及び富山県の 3 県で、引受戸数は 70 戸（対前年 93.3%）、引受面積は 23ha（対前年 91.4%）であり、各県の引受面積は山形県（13ha）、富山県（6ha）、新潟県（4ha）であった。また、共済金額は 61 百

万円（対前年 100.8%）であり、面積引受率は 1.4%であった。

（２） 共済金支払実績等

共済金支払実績はなかった。

９ キウイフルーツ

（１） 引受実績

引受実績があったのは香川県、愛媛県及び福岡県の３県で、引受戸数は 271 戸（対前年 86.6%）、引受面積は 96ha（対前年 87.7%）であり、各県の引受面積は福岡県（73ha）、愛媛県（20ha）、香川県（3ha）であった。また、共済金額は 1,586 百万円（対前年 82.3%）であり、面積引受率は 14.5%であった。

（２） 共済金支払実績等

支払対象戸数は 89 戸、支払対象面積は 37ha、共済金支払額は 79 百万円であった。

主な被害はその他の気象上の原因による災害、雨害湿潤害などであった。

金額被害率は 5.0%であり、平均共済掛金率 2.5%を上回った。また、各県の金額被害率は、愛媛県（9.7%）、香川県（6.5%）、福岡県（3.3%）であった。